

主な内容

| | |
|----|--------------------------|
| 2面 | 市立小学校入学に関する各種の制度や手続きについて |
| 3面 | わがまち学校たんけん隊! |
| 4面 | 「宮沢賢治 イーハトーヴの鳥たち」展 |

まちだの教育

2015年
6月21日
No. 94



発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

5月14日 「町田市学力向上推進フォーラム」を開催しました!

教育委員会では、2年前から学力向上推進委員会を設置し、子どもたちの学力向上に向けて研究・検討を行ってきました。この度、「町田市学力向上推進プラン」を策定し、全小・中学校で推進していくこととしました。プランでは、子どもたちが、「できる学力」(=基礎的・基本的学力)と「わかる学力」(=思考力・判断力・表現力)をバランスよく身に付けることを目的とし、学力向上策の「柱」として協同的探究学習を掲げています。



▲教職員、保護者、地域の方など約800名が参加しました。

問い合わせ 指導課 ☎724・2867

「協同的探究」は「わかる学力」を伸ばすための考え方なんだ! この考え方を取り入れた授業では、多様な考えを認め合い、みんなで話し合うことで、自分の中でよりよい考えを創り出していこう。



学力向上イメージキャラクター「のびるくん」
(作・図師小学校 池山雅子教諭)

実践報告を行った学校 (7校)
町田第六小学校・南第一小学校・
小山ヶ丘小学校・相原小学校・
町田第一中学校・町田第二中学校・堺中学校

1 学力向上に向けた取組の実践報告

これまで2年間、学力向上に向けた取組を研究・推進してきた市立小・中学校7校による実践報告が行われました。このうち南第一小学校は、学力向上推進パイロット校として国語の協同的探究学習に取り組んでおり、山本美紀主幹教諭らが、「モチモチの木」(斎藤隆介作)を題材とした模擬授業を行いました。

STEP1 導入問題をまずは1人で考えよう!

「豆太は臆病なのか」という課題を3DKノートの「K」に、自分の意見を3DKノートの「①」と短冊に書いてみましょう。

「3DKノート」って何?
南第一小学校で使用しているオリジナルのノートです。ノートの見開きで、課題(「K」 adai)、①自分の考え、②友達の考え、③まとめ(「3」)、展開問題(「D」 rill)を書き込めるよ!

| | | |
|-----------|------------|---------|
| ③ まとめ | ① 自分の考え | K 課題 |
| D 展開問題 | ② 友達の考え | |

導入問題は、8割以上の子どもが取り組むことができ、教材の面白さにせまった問題であることが大切です。

STEP2 少人数グループで話し合おう!

少人数で話し合い、気付いたことを3DKノートの②にメモします。

少人数で話すことで、自信をもって全体に意見を発表できるようにすることがねらいです。

STEP3 自分の考えを発表しよう!

自分の意見を書いた短冊を持って、黒板の前に集まり、意見を発表して、黒板に短冊を貼ります。

豆太は臆病ではないと思います。

豆太はじさまが大好きだから勇気を出せたと思います。

出された意見はどんなものでも否定しないことで、気持ちよく子どもたちが意見を出すことができます。

STEP4 考えの相違点や共通点を話し合おう!

短冊に書かれた意見の違いや共通点を整理して、関係性を図解していきます。

A意見の短冊の位置は、B意見にもっと近いほうがいいです。

C意見とD意見は「臆病ではない」グループだね。

出された意見の関係性をわかりやすく見えるようにし、自分の考えを深めていきます。

STEP5 自分の考えをもう1度書こう!

話し合いの内容を踏まえて、自分の考えを3DKノートの③に書きます。

この過程により50字程度の意見しか書けなかった子どもが200字ぐらいの文章を書けるようになります。

協同的探究学習を実践した学校では…

テストの無解答が減ったよ!

クラスの雰囲気よくなってきたんだ!

全国学力テストの応用問題の結果が上がった!

みんなの前で自信をもって発表できる子どもが増えたよ!

2 パネルディスカッション テーマ『学力向上と協同的探究学習』

これからの時代を生きる子どもは、課題に対し1つの答えを出すだけではなく、自分で知識をつなげて探究する力、みんなの意見をつなげて創り上げていく力が必要。その力を育むための考え方が協同的探究学習です。
東京大学大学院 藤村宣之教授(町田市学力向上推進委員会顧問)

2年間、協同的探究学習を取り入れた授業を研究する中で、南第一小学校オリジナルの短冊や3DKノートを使う授業方法などが生まれてきました。みんなでイメージを共有でき、子どもも先生もワクワクする授業を行えるようになりました。
南第一小学校 山本美紀主幹教諭(学力向上推進パイロット校主幹教諭)

家庭でも、親として子どもと接する際には、「どうして?」と子どもの意見を聞き、認めてあげることを心がけていきたいと思えます。
参加した保護者の声

協同的探究学習というと、難しそうに聞こえますが、本当はどの学校でも既に行っていること。ただ、市全体でその理念を共有し学力向上に向かって進んでいく、そのことが大きなうねりとなって新たな取組が生まれていく。それが大事だと思います。
七国山小学校 山本弘明校長(町田市学力向上推進委員会委員長)

子どもに本当に身に付けてもらいたい力を育むにはどうしたらよいか、校長として教員や保護者に、いろいろな機会に説明してきました。それが少しずつ定着し、成果が出ていることを実感しています。
南第一小学校 佐野友隆校長(学力向上推進パイロット校校長)

今後は、フォーラムで発表された内容に基づいて市立小・中学校全校で学力向上に向けた取組を実施していくよ!

学校でのいじめに関するご相談は ●いじめ110番: 724・2867
障がいがある児童・生徒の就学・進学に関するご相談は ●就学相談: 793・3057
子どもの教育上の問題に関するご相談は ●教育相談: 792・6546

本町田東小学校の教育

～ひなたの学校～

「ひなた村」のすぐ隣に本町田東小学校があります。校庭にいとカリヨンの鐘の音が聞こえてきます。近隣には薬師池公園や七国山もあり、自然と歴史豊かな地区に立地しています。

ひなたの学校を自負する本校の特色は次の3点です。

(1) 学力向上モデル校として、校内に学力向上委員会を設置し、国語科の「書くこと」を重視し、「伝える力」「表現する力」を高めようとしています。取組の一つに「ひがまな」と名付けた放課後学習教室があります。保護者や地域の人の協力を得ながらプリント学習を中心に実施しています。また、家庭学習の手引き「かがやけ東っ子」「みんなで育てよう東っ子」を活用し、学校と家庭の連携を図っています。



▲家庭学習の手引き(かがやけ東っ子)



▲保護者対象のiPad研修

(3) 幼保小の新たな連携によるスタートカリキュラムを導入しています。

昨年度より近隣の7つの幼稚園・保育園の先生方と合同研修会を実施し、延べ100人の教職員による、新たな関係作りに力を入れています。園との交流を深め、園での生活や生活リズムなどの実態を知ることにより、小学校生活につなげるためのスタートカリキュラムを作成することができました。



▲夏の幼小合同研修会(リトミック)

本町田東小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/school/e-honmachida-e/>

南つくし野小学校の教育

～学年、学校一致団結「チーム南つく」～

(1) 3年社会科 「農家応援メッセージ」

3年生は社会科の「まちの人たちの仕事」の学習で、地元の農家を見学し、農家の工夫や努力について学びました。そこで「地元の野菜は安全・安心であること」「畑が減少していること」などを知り、「自分たちに何が出来るか」を相談しました。その結果、生産者と消費者をつなげたいという思いをポスターに表し、JAのお店や地元野菜を扱うスーパーに貼らせてもらいました。仕入れに来る農家の方々やお客さんにお礼の言葉を頂き、地域に貢献できる学習ができました。



▲3年社会科「農家応援メッセージ」

(2) 校内研究 「考える子」

本校では、「自分の考えをもち、すすんで表現する子供を目指して」を主題として、校内研究を行っています。具体的には、授業において、比較場面を設定して子供たちに考えさせたり、思考時間を長く確保するようにしたり、思考力・表現力の向上に取り組んでいます。また、目指す児童像の実現へ向けて、より効果的な板書の仕方や掲示物、学習形態等を、教師が丸となって学び続けています。



▲校内研究 「考える子」

(3) 合唱団 「青空コンサート」

本校には有志による合唱団があります。休み時間等の限られた時間での練習をコツコツと積み上げて活動しています。その合唱団が毎年出場しているのが10月に地域で行われる「青空コンサート」です。文字通りの野外コンサートです。地域の様々な団体が参加するこの地域を代表する催しです。本校の合唱団も長年にわたり参加させていただいており、団員の大きな目標となっています。毎回地域の方々が大きな声援を送ってくださる、心温まるコンサートです。



▲合唱団 「青空コンサート」

南つくし野小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-minamitukusino/>

最終回

わがまち学校たんけん隊!

鶴川第一小学校の教育

～地域に根ざした「おらが学校」～

本校は今年で開校108年を迎える歴史と伝統のある学校です。自然に溢れる野津田、小野路の地を学区としており、素直で伸び伸びとした800名を超える子供たちと共に様々な教育活動に取り組んでいます。

(1) 保護者・地域協働による多様な体験活動

毎年、保護者・地域の皆様の協力を得て、体験活動を行っています。1年生の梅ジュース、2年生のうどん、5年生のしめ飾りなどものを作る活動や、6年生の華道や水墨画体験のように日本の伝統文化に触れる活動を行っています。このほか、3年生が地域の方に昔の学校のことを聞いて、開校記念集会で発表したり、4年生が地域に伝わる昔話を調べるために、小野路の里山を見学して紙芝居を作り、すべての教室を回って発表会を行ったりしています。学年ごとに特色のある活動を行うことで、子供たちは、上級生になるとあんな体験ができるのだと、楽しみにしています。



▲3年生の開校記念集会での発表

▲1年生の体育授業の様子

現在、本校では校舎改築工事が行われているため、使用できる校庭のスペースが狭く、子供たちは校庭や体育館を交替で使用しています。少しでも体を動かす機会がもてるよう、体育を校内における研究教科に定めるなど、工夫しながら体力の向上を図っています。室内で過ごす日が多くなり、昨年度、遊び道具の寄付を保護者や地域の皆様に呼びかけました。すると本当に多くの品物が本校に寄せられました。子供たちはそれらの品物を使い休み時間を過ごしています。

(3) たてわり活動

年間に数回のたてわり班による活動を行っています。一緒にお弁当を食べたり、ゲームをして遊んだりして互いに仲良くなり、秋には全校遠足を実施しています。班の旗を持ち1年生の手を引きながら参加する6年生の顔つきには、たくましさを感じます。



▲全校遠足(野津田公園にて班ごとに遊びを行います)

鶴川第一小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-tsurukawa1/>

七国山小学校の教育

～感動と創造の教育～

★あいさつ運動

気持ちのよいあいさつは人と人とのつながりを深め、毎日楽しくしてくれれます。代表委員会を中心にあいさつ運動に取り組み、学校の中だけでなく、山崎中学校や山崎高校とも連携してあいさつの輪を広げています。



▶全校あいさつプロジェクト



★音楽発表会

毎年11月に行われる音楽発表会では学校中に歌声が響き渡ります。一人でも音楽に向き合い、努力して上達する喜びを味わい、さらにその一人ひとりの力が集結して合唱や合奏を作り上げる大きな喜びを味わいます。

◀音楽発表会

★毎日が展覧会

学校の中にはいつも子供たちの作品が展示されています。心をこめて作った作品がいつも身近にあることで、作品のよさや作った人の思いを感じる力を育てます。



▶毎日が展覧会

七国山小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-nanakuniyama/>

忠生図書館へ行ってみよう!

5月1日(金)、忠生市民センターの2階に忠生図書館が開館しました。閉館後も午後8時まで、セルフ予約資料受取コーナーで本を借りることができます。皆さまのご来館をお待ちしています。

【開館時間】

火・水・金(除祝休日) 10:00~18:00
木・土・日・祝休日 10:00~17:00

【休館日】

月曜日(祝休日は開館)、
第2木曜日(祝休日は翌日休館)、
年末年始、館内特別整理期間

問い合わせ 忠生図書館 ☎792・3450



開館日の午前10時から午後8時まで、予約した資料を借りることができます。



吹き抜けのある、広々とした閲覧席。52席の座席のほか、スツールやベンチもあります。



新しい本がいっぱい!約7万冊の本が待っています。

自由民権資料館2015年度第1回特別展

入館無料

中島信行と俊子 ~自由をつむいだ夫婦の肖像~

文明開化期に神奈川県令、自由党結成時には副総理、そして初代の衆議院議長を務めた中島信行。若くして演壇に立ち、女性の社会的地位や女子教育について説いた岸田俊子。結婚後、2人は神奈川県を活動の拠点にすることも多く、武相地域の自由民権運動に多大な影響を与えました。本展では、2人の歩みを武相の民権運動との関連を中心に紹介します。

■ 会 期

7月18日(土)~8月30日(日)

■ 休館日

月曜日(休日の場合はその翌日)



▲中島信行・俊子
『岸田俊子研究文献目録』(不二出版)より

関連イベント

◎ 記念講演会

8月2日(日) 午後2時~4時
「明治のリベラリスト 中島信行」

8月23日(日) 午後2時~4時
「湘煙とその時代——岸田俊子の実像を探る」

◎ ギャラリートーク(展示解説)

毎週土曜日 午後2時~(1時間程度)

詳細は広報まちだ・町田市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 自由民権資料館 ☎734・4508

町田市民文学館ことばらんど 夏の展覧会

観覧無料

「宮沢賢治 イーハトーヴの鳥たち」展



©館野鴻

会 期 7月18日(土)~9月23日(水)

休館日 毎週月曜日
(ただし7月20日、9月21日は開館)
8月13日(木)、9月10日(木)

観覧時間 10:00~17:00

詩人・童話作家として知られる宮沢賢治は、動物や自然を愛し、それらを作品に描きました。ことに大空を自由に飛びまわり、美しい声でさえずる鳥に、見知らぬ世界への憧れや天上世界への祈りを託して、作品に多く登場させています。

本展では、「よだかの星」や「二十六夜」、「銀河鉄道の夜」など、鳥たちが登場するおはなしを、絵本や紙芝居の原画で紹介。彩り豊かな絵が織りなす、美しく幻想的なおはなしの世界に迷いこんで、その奥に隠されている賢治のメッセージを受けとってください。

おはなし会や紙芝居上演会、バードカービングや折り紙のワークショップなど、たくさんの関連イベントを予定しています。詳細は、町田市ホームページ・展覧会チラシをご覧ください。

問い合わせ 市民文学館 ☎739・3420

連載

町田市歴史の一コマ 自由の棲む郷、町田



▲中島信行書「自由所棲是吾郷」(村野家文書)

自由民権資料館には「自由所棲是吾郷」と書かれた扁額があります。「自由の棲む所、是吾が郷」と読み、自由の棲む所はわが郷だ、という意味になります。

この書は、「長城」こと中島信行の揮毫で、野津田出身の民権家村野常右衛門が自宅の居間に長年掲げていたものです。中島は、文明開化期に神奈川県令、自由党結成時に

副総理を務めたことから、多摩地域を含めた神奈川県内の自由民権運動に多大な影響を及ぼしました。その運動の中心にいたのが、村野と同郷の石坂昌孝であり、そのサポート役が村野でした。

村野は、わが郷にこそ「自由」の息吹がある、との思いを抱き、この書を掲げ続けたのでしょう。

都市計画道路3・4・32号線用地内遺跡は町田街道の木曾中原の交差点からJR横浜線古淵駅を結ぶ道路の建設に伴い、1993年に調査されました。調査の結果、九世紀前半頃(平安時代)の住居跡が2軒確認され、そのうちの1軒からは須恵器長頸壺1点や土師器坏5点が出土しています。

土師器坏5点のうち3点には墨書が認められます。写真は坏の裏側に墨で記された「手



▲調査地点



▲墨書土器「手寺」

寺」という字です。これらの出土遺物から、この住居は、仏教に関わりのある人の住居であったと推測されます。また、役所以外の一般集落にも文字を

連載

遺跡が語る土地の記憶 都市計画道路3・4・32号線用地内遺跡(木曾東)

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報紙は、136,850部作成し、1部あたりの単価は4円です。(職員人件費を含みます。)